

いふ
ど
み
じ
う。
飯島直子

俳優
飯島 直子さん
Iijima Naoko

1968年生まれ、横浜育ち。88年、モデルとして芸能界デビュー。26歳で出演した缶コーヒーのCMで癒やし系として不動の人気を得、ドラマやバラエティなど幅広く活躍。2023年に始めた親近感あふれるインスタグラムが反響を呼ぶ。24年4月より初の単独レギュラー番組『飯島直子の今夜一杯いらっしゃう?』(BSフジ・BSフジ4K 毎週木曜 22時~22時55分)がスタートし、地元民に愛される酒場を訪ね常連客と交流するとともに、ゲストと台本のないトークを展開している。

[Instagram @naoko_iijima_705_official](https://www.instagram.com/naoko_iijima_705_official)



キラキラの想い出

横浜に越してきたのは小学3年生の時。世界が明るく感じたことを覚えています。それまで都内で父方の親族と同じ敷地に暮らしていましたが、わが家だけが独立したという解放感もありました。学校の教室も明るかったです。それが陽の光なのか横浜の空気感なのかわかりませんが、キラキラとして。

高校生の時、「どこ行く?」「山下行こう」と、友達と毎週のように行つたのが山下公園。男の子が16歳でバイクの免許を取って、女の子を後ろに乗せてくれて。誰かと誰かが付き合っているというわけでもなく、仲のいい友達と4、5台で連なって。暴走族ではないですよ(笑)。山下公園や大黒ふ頭から夜景を見るのが好きでした。ちょっと大人になつたような気がして。今でも懐かしくホッとする場所です。

「横浜出身」って、やっぱりかっこいいから、車のナンバーもずっと横浜のままでした。今はみなとみらいにもよく行きます。食事をしたり映画やライブを観たり。街並みがきれいですよね。都内にも拠点がありますが、横浜の実家と半々くらいで過ごしています。帰る場所があるっていいものですね。

夢破れ、芸能界へ

母が美容師だったので、私も美容師になるのが夢でした。中学を卒業したら専門学校に行くつもりでしたが、先生の勧めで高校に通いながら通信教育で学ぶことに。子どものころから母のお店で手伝っていたので、自分なりに自信がありました。ところが国家試験前のスクーリングで、美容室に勤務しながら学んでいる人たちに気おくれてしまつて。私は挫折してしまいました。

元祖癒やし系女優・飯島直子さん。ドラマ、バラエティ、映画、ラジオ、舞台と幅広く活躍してきた。ご両親を見送り、ふさぎ込んでいた日々を救ってくれたのは自身のインスタグラムによるファンとの交流だったという。美しい笑顔と飾らない人柄。飯島さんは、どこまでもナチュラルな方だった。

目標を見失った時に思い立ったのがモデルの仕事。高校生の時、渋谷でスカウトされ少しだけモデルをやっていたんです。もう一度モデルの仕事を探し、その後テレビに出させていただくようになって……。その流れでなんとなく芸能界に入りました。両親も「いつの間にか直子がテレビに出てる」と。厳格だった父は思うところもあったかもしれません。両親とも私をとがめることはなく、自然に受け入れてくれました。

家族との幸せな時間

10年ほど前、父にがんが見つかりました。当時、病院への送迎や治療方針の相談など全て私が対応していましたので、その間は長期にわたるものや地方のお仕事は、申し訳ないけれどお断りして。どうしても父に元気になってほしかった。優先順位をつけるとしたら、迷わずお仕事より家族でした。私は10代で実家を出たので、両親と過ごせたこの数年間は、濃密で幸せな時となりました。

父を見送り、気落ちしていた母を励ましながらの暮らし。ようやく落ち着いてきたころ、元気だった母が突然倒れ、そのまま天国へ旅立ってしまいました。それからは私もふさぎがちで家にこもるようになってしまって。そんな私を見かねて、ある方が「もう少し外に目を向けなさい」と。思い切って苦手なことに挑戦してみようと始めたのがSNS。昨年の1月にインスタグラムを開設しました。

皆さんから元気をもらった

インスタグラムを始めてみると毎日のように皆さんにメッセージをくださって。私と同じように大事な人を亡くしたという方もいて。私自身も落ち込んでいたのですが、「私はこうやって乗り越えてきたよ、がんばろうよ」と励ますうちに、気づくと自分も元気になっていました。

私が選んでメッセージを送ってくれたことに、ちゃんと向き合ってあげたい。ノートに下書きして、何度も読み返してからお返事を書き込みます。一つのお返事に何日もかかるかもしれません。周りからは真面目で丁寧すぎると言われます。(笑)

新人のような気持ちで

20代30代と、ありがたいことに忙しく過ごしました。ただあのころは、与えられたお仕事をこなすだけで精一杯で。今、ようやくじっくり考える時間ができ、やったことがないことに挑戦してみよう、飛び込んでみようと思えるようになりました。例えば大人向けの絵本を描いてみたいし、紙芝居や読み聞かせもやってみたい。この春テレビで、初めての単独レギュラー冠番組も始まりました。台本のないトーク番組です。初心を忘れずに、一つ一つ丁寧に向き合っていきたい。

これまでさまざまなことがありました。全てが必要なことだったのだと今は思えます。そんな想いを一冊の本にまとめました。手に取っていただけたらうれしいです。

以前、「生まれ変わるなら生きるうちに」という歌のフレーズを聴いた時にハッとした。本当だよねって。明日、地球がなくなつても後悔のないように生きていたい。でも、がんばり過ぎず、ほどほどにね。

『飯島直子 今のための今まで』

飯島直子 著
(世界文化社)
1,760円(税込)
絶賛発売中!

元祖癒し系女優の美容、
更年期、結婚・離婚、そしてこれからーすべてを明かすライフスタイル本!
※著者印税の一部は能登半島地震支援、同動物対策支援のために寄付されます



(3名様にプレゼント 2面参照)

この道25年
次の世代への橋渡し人

鈴木健士

~創業80年~

カメラはスズキ ジョイナス店

出張買取／店頭買取

まずはお気軽に電話を

店舗にいつでもお持ちください

大切にしていたそのカメラ 私が買取に伺います

買取後はわたしたちが大事に修理して、
次のオーナーさんへ橋渡しをいたします。

- フィルムカメラ、デジタルカメラ、レンズのみOKです。
- メーカー、年代が不明でも大丈夫です。

お問い合わせ TEL.045-323-1162

[営業時間] 9時~21時 [定休日] 横浜ジョイナスに準ずる 横浜市西区南幸1-5-1 横浜ジョイナス1F
<https://www.camesuzu.photos/> 古物商許可証番号:神奈川県公安委員会 第451370009487号



~フィルムカメラを次の世代へ~
豊かな写真文化の継承に取り組みます

